

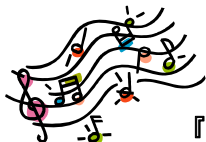


前川重雄

今週のプログラム

第1367回 平成18年 2月 8日(水)

外部卓話 今村尚子様
『骨髄バンク普及の為に』



今日のロータリーソング

『それでこそ ローター』



第1366回例会 委員会報告 (2月1日現在)

出席委員会

2/1 出席状況 出席 33名 会員数 38名

ロータリー財団特別寄付(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

東・金・前川・中田・下田・高嶋 (本日6件 10,000円 本年度累計190,000円)

年次寄付・・・・北・野尻・高本

目標達成・・・合計21名 累計金額253,000円

強化サック・・・・本日7,300円 累計金額 63,600円

米山記念奨学会(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

稲葉・金・中田・下田・高本・高嶋

(本日6件 11,000円 本年度累計248,500円)

ニコニコ箱・・・(ABC順・敬称略)

久保田直邦様・・・お礼をニコニコ箱に

小林喜様・・・・新年おめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ致します。

橋本・林田(恒)・金・前川・下田・高嶋・釣部・山田・山下

本日の合計	本日迄の累計	前年度との比較
23,000円	1,140,000円	1,142,500円

会長挨拶

今日のお客様のご紹介を致します。本日の卓話をお願いしています。久保田酒造合資会社社長 久保田直邦様と三国RC小林喜一様です。

大寒に入り寒い日が続いています。今日の福井新聞の一面に福井市の合併が出ています。今日から新しい福井市が誕生しています。

県下で7番目です。我々丸岡が3月20日に合併をしますと県下で9番目になります。市町村に住んでいるものとして、これから地域づくり行政づくりに努力していますが、県も財政改革などこれまで以上に進めてほしいと思っています。

春の選抜野球大会には3月23日から開催されますが福井県からは出場しないという事で非常に残念に思います。

週報に津田佐兵衛パストガバナーが大久保昇ガバナーに送ったエール、「敬服すべき手腕」という寄稿文を掲載しています。熟読下さい。



幹事報告 【 来信 】

宮崎茂和パストガバナーより

ロータリークレジットカードのご入会の協力依頼

3月末までに5000人の会員の方々が必要ですけど、現在1838名です。プラチナカードは年会費無料です。皆様のご協力をお願い致します。

会報・敦賀RC・武生府中RC・武生RC

金 雑誌資料広報委員長より

『ロータリーの友』『ガバナー月信』の今月のポイントを聞く。



県内クラブ
例会日

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
福井東 福井厚生年金 敦賀西 サンピア敦賀 PM:7:00開始 PM6:00開始	福井南 織協ビル 8F 勝山 市民活動センター 武生 武生商工会館 若狭 小浜商工会議所 福井エニックス ワシントンホテル	福井北 ワシントンホテル 敦賀 北陸銀行敦賀支店 鯖江北 神明公民館 丸岡 JA花咲く丸岡支店	福井 ユアースホテル 武生府中 JA越前たけふ	福井西 クラントリーア 三国 三国観光ホテル 大野 リブレ 4F 鯖江 鯖江商工会館 あじさい パヴェリア

卓話

11代目当主として 久保田酒造合資会社 社長 久保田直邦様



本日は丸岡ロータリークラブへご招待頂き有難うございます。私の様な若輩者がお歴々の前で話をするなんて畏れ多いとは存じますが、私の体験をお聞き下さい。私はご紹介にありましており昭和36年に久保田家の長男として生まれました。もともと勤勉とか努力とかに縁がなく、いかに楽するだけ考えた学生生活でした。父親が「大学は人間関係などを勉強する場所だ。」と言ったのを自分の都合の良い様に取り、最低の成績でした。4年になり研究室に入った時、担当の教授に「こんな悪い成績は初めて見た。よく落第せずに来たものだ。」と飽きられるぐらいでした。「おまえは造り酒屋の息子だからこの蔵で丁稚奉公をして、実家にかえって家業を継いだらよい。」と紹介されたのが栃木県の造り酒屋でした。醸造学部へ行き、造り酒屋に丁稚するというは大変珍しい事でした。今になってみれば色々な経験が出来てよかったですと思えるのですが、その時はひたすら辛くて、こんな処やめてやるという事ばかり考えていました。しかし、アパートの近所の人々が「今度の丁稚は何ヶ月持つかね?」と話しているのを聞き、「意地でも年季明けまでいてやる。」と決意した者です。なかなか意地っ張りだなと自分でも思います。何が辛かったかという、皆様からすればたいしたことではないと思われるでしょうが、

1. 休みがない。2. 給料が安い。3. とにかく冬は寒い。
4. 食べ物に口が合わない。

人間の味覚は20代前半が最高なのでその時に味覚を鍛えなければならぬと言われ、多い時には1日400種類以上のお酒をきき酒させられました。きき酒は最初にお酒の色を見、それからグラスの中で立ち上る香りをかぎ分け、口にお酒を含んで舌の上にまんべんなくお酒を回します。人間の味覚は味のつぼみと書いてミライと呼ぶ舌にある部分でわかり、甘味は舌の先で、苦味は舌の根元で、酸味は外側縁で、塩味は舌尖(ゼッセン)と周縁で最も感じるそうです。お酒を舌にまんべんなく回して味の違いを判断すると同時に、口の中に立ち上るお酒に含まれる香りを判断します。それから酒をはき出し、味がどの様にしたから消えていくかを判断します。本当は飲み込んで喉ごしも判断すると良いのですが、酔っぱらいますのではき出すのです。もっとも、数をこなすとはき出していても酔っぱらいます。

福井県や丸岡町があまりにも知られなさ過ぎる。何とかして福井県や丸岡町の知名度を上げなくては弊社商品も売りにくいと、考え、いろんな方に相談をしました。そこで大廻さんと知り合い、「あなたは文学で丸岡町の名前を有名にしてください。私はそれに協力致します。」と約束しました。その3年後に一筆啓上賞が始まりました。その募集開始の半年前に「今度、手紙のコンクールを始めるので、そのタイトルの商標を取って、商品を作れ。」と大廻さんに言われ、商標を取りました。募集開始から半年後に純米吟醸一筆啓上を発売しました。その後、「一筆啓上が映画になるのだからもっと高級酒を出せ。」と言う事で純米大吟醸一筆啓上を発売しました。皆さんご存じの通り一筆啓上賞は全国から爆発的に評価を受け、丸岡町の知名度も飛躍的に上がりました。

先ほどの日本酒パーティーでも10～15パーセントの人から丸岡町を知っていると云われ、お陰様で弊社の一筆啓上酒も主力商品の一つになりました。

やがて長引く不況の中で、日本酒の需要が低迷してきました。試行錯誤した結果私は「日本酒は地元の伝統や文化と共にある。」と思い、福井県酒造組合青年部の有志と地酒をアピールする為にアンテナ居酒屋をイベントとして行う事にしました。しかし、予算がないと言う事やアピールの方法として、一般の消費者にも参加してもらい遊醸クラブという運営会を立ち上げました。そこで、足羽山の花見茶屋「大久保」でアンテナ居酒屋粋酔塾を1ヶ月行うが決定しました。酒は勿論、食材や器、店内内装も福井県産で行う事となり、メンバーの手作りで準備を行いました。予算がないので各種団体青年部や県内の演奏家の方達に酒を呑ませるから無料で協力して下さいと頼み込み、期間中も色々な行事を行いました。アピール方は変わった取り組みをしようと言う事をマスコミ各社へ行き何度も頼み込んだからか、民間対象としては福井県で初めてではないかと言われ大きく扱われました。おかげで、ほとんど訪れる人のなかった10月の足羽山で、2000人を超えるお客様が来店されました。この経験で「地酒は地元で密着しなければならない。」との思いを益々強くし、「地元の人に喜ばれるにはどうしたらよいか。」とか「福井県は人口が少ないのだから、県外からお客さんをお金を落とすしてもらおうしはどうか。」と色々な試みを考えたり行なったりしました。その一つとして考えたのが、県外から丸岡町へ来てもらい、米や野菜物を作ったり、蕎麦打ちや酒造りの体験をってもらうのはどうかという事です。ただ、これには多くの方の協力がないと出来ませんのでどうしようかと考えている所へ、樋田酒店さんから丸岡の酒販店で会社を作り商品を開発販売したいというお話を頂きました。丸岡の酒販店も大型スーパーやディスカウント店、コンビニなどにお客を取られ売上が減っています。そこで、自分たちが胸を張って売れる自分たちだけの商品を開発したいという事だったのです。米も水も全部丸岡産の日本酒を造ろう。」と言う事になりました。取り敢えず今回は福井県産の米で作らしましょう。それに合わせて名前を募集したら話題作りになるのではないのでしょうか?と言う事で、名前の一般募集を行い、一筆啓上賞を見習って第3次審査で「鬼作左」に決定しました。お酒も辛口だけれども口当たりの優しい酒が出来、平成17年2月に発売となりました。予想以上の売れ行きに、びっくりすると同時に地元でこだわると言うやり方が間違っていないと確信しました。

最後に、これからの夢として、もっと多く丸岡産の酒米を造り、弊社の酒を全量地元の米にしたい。また、水資源の保護の為に竹田川流域の方達と山の植林を行いたい。県外の方を沢山丸岡にお呼びして滞在型の観光をしてもらいたい。等いろいろありますが、地域に密着した会社として、出来れば次の世代・12代目に無事渡したいと考えています。企業は人なりと言われるますが、会社を支えるのは会社の役員・従業員だけではなく、その会社を応援してくれる地域の方々やお客様だと思います。地域の方に少しでも良いことが出来ればと思いこれからもいろいろなチャレンジしていきたいと思っています。つたない話で申しわけございませんでした。ご静聴有難うございました。

次週プログラム 2月 15日(水)

第1368回 例会

外部卓話

三国税務署

署長 新屋世紀様